



RYOWA REPORT

株主通信 *vol.11*
第57期中間事業報告書
平成17年4月1日～平成17年9月30日

空気と水のテクノロジー

株式
会社 **テクノ菱和**

株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

テクノ菱和はこの度第57期(平成17年4月1日から平成18年3月31日)の中間決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

建設業界は、景気回復に伴う民間設備投資の増加に下支えされているものの、公共投資の削減傾向が続き、建設投資の総量が減少しているため厳しい受注環境が続いております。

こうした状況のもと、当社は、今後の成長が期待されるリニューアル分野へ重点的に営業展開を行うとともに工事利益率の改善、経費の削減などを推し進めた結果、当中間期は当初計画を上回る実績をあげることができました。

今後につきましても、建設業界は引き続き厳しい状況が続くと思われませんが、拡大を続けるリニューアル分野への営業力強化を図るとともに、長年培われた高い技術力を活かして、高精度クリーンルーム等高付加価値生産設備の受注増強に取り組んでまいります。

また、環境保全に対する社会的関心が高まるなか、当社といたしましては、省エネシステム・省エネ制御機器の提供・研究開発や社内環境保全プロジェクトの推進、リニューアル工事における建築撤去材のリサイクル・リユース活動の促進などを通じ、今後も自然環境の保全に貢献してまいりたい所存であります。

なお、当期の業績見通しにつきましては、売上高524.0億円、経常利益15.4億円、当期純利益7.3億円を見込んでおります。また、中間配当金につきましては、業績を勘案し、昨年と同額の1株につき5円とさせていただきます。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年12月

株式会社テクノ菱和
取締役会長兼社長

林 昭八郎

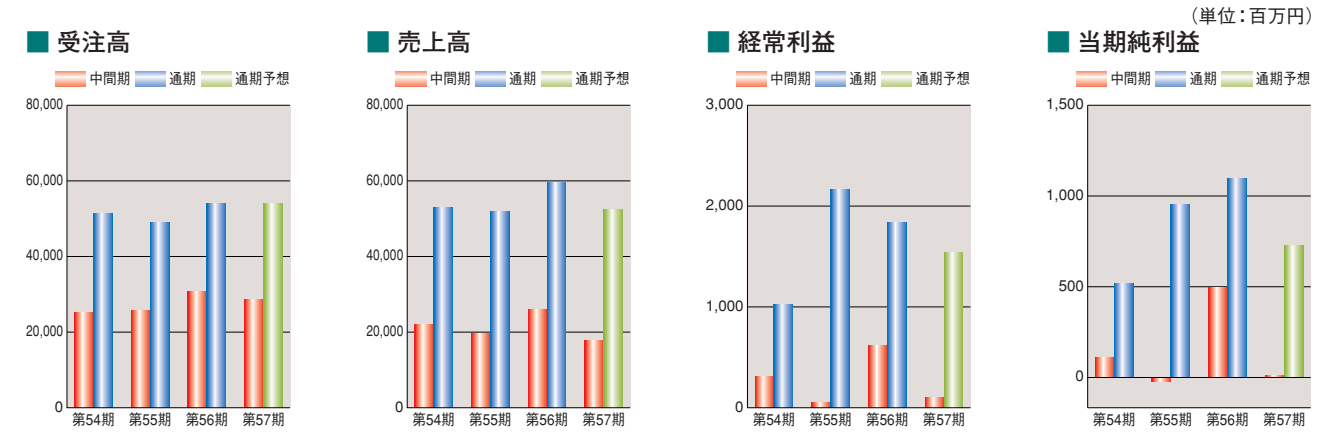


取締役会長兼社長 林 昭八郎

主要な経営指標等の推移(単体)

	第54期中間期 (通期)	第55期中間期 (通期)	第56期中間期 (通期)	第57期中間期 (通期予想)
受注高 百万円	25,300 (51,499)	25,768 (48,904)	30,781 (53,956)	28,496 (54,000)
売上高 百万円	21,985 (53,025)	19,660 (51,863)	25,976 (59,568)	17,723 (52,400)
経常利益 百万円	306 (1,019)	55 (2,165)	621 (1,833)	105 (1,540)
中間(当期)純利益 百万円	110 (516)	△20 (95)	497 (1,098)	3 (730)
株主資本 百万円	17,357 (17,668)	17,921 (19,244)	19,457 (20,268)	20,339
総資産 百万円	39,822 (44,204)	40,572 (43,406)	42,431 (43,649)	37,711
株主資本比率 %	43.6 (40.0)	44.2 (44.3)	45.9 (46.4)	53.9
1株当たり純資産 円	834.01 (848.98)	861.17 (924.02)	934.99 (973.11)	977.51
1株当たり中間(当期)純利益 円	5.29 (24.81)	△1.00 (45.19)	23.91 (51.87)	0.15
1株当たり中間(年間)配当金 円	5 (10)	5 (12)	5 (14)	5 (14)

※括弧内の数字は通期の実績を表しています。
※第57期(通期予想)の数字は現時点における当期の業績予想額となっています。



産業設備関連事業

当社は、半導体・医薬品製造など高度な最先端施設において、作業環境の温湿度制御のみならず、高精度の室内圧力制御や化学汚染物質の発生防止・除去技術、静電気除去などの様々な環境制御技術を駆使して、お客様に信頼性の高いクリーンシステムを提供しております。

当中間期は、前年同期に比べ繰越工事の減少が影響し、売上、利益ともに減少いたしました。今後も当分野での活発な民間設備投資が見込まれるため、積極的な営業展開を行い、競争力強化に取り組む所存でございます。

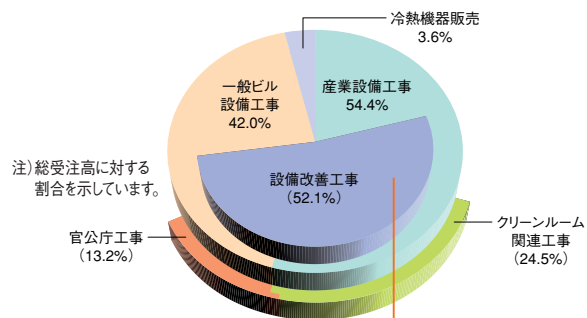
一般ビル設備関連事業

オフィスビル空調などのアメニティを重視した生活空間から、高度な空調制御技術を要する医療・介護施設での環境づくりまで、生活に密着した環境技術を通じ、ゆとりある都市空間の創造に貢献しております。

当中間期は、教育施設や医療関係施設等の受注は順調に推移いたしました。発注価格の下落傾向は依然として続いており、全体としては苦戦を強いられております。

今後も、広範な営業活動を展開し受注量の確保に取り組むとともに、徹底した原価低減に努め、当分野での利益率の向上に取り組む所存でございます。

■ 当中間期受注高構成比



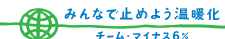
■ 設備改善工事について

『リフォーム・リニューアル』をキーワードに、設備改善工事やメンテナンス工事を中心とした業務分野です。

当事業分野におきまして、当社は本年8月に『建築物環境衛生総合管理業(東京都知事登録)』の登録を行いました。この制度は、ビル所有者等の委託を受けて、空気環境の測定等、ビル内部における環境衛生の維持管理をする業者の資質向上を目的とした制度であり、近年需要の高まるビル管理業務および保守メンテナンス事業の公的登録制度として注目されております。

TOPICS

『チーム・マイナス6%』に参加しています



『チーム・マイナス6%』は、本年2月に発効された京都議定書における日本の目標～温室効果ガス排出量6%の削減～を実現するための国民的プロジェクトであります。

当社は「テクノ菱和環境方針」に基づき、環境保全プロジェクトを立ち上げ、廃棄物の抑制・再利用の促進、グリーン調達を推進

などの活動を通じ、環境負荷の低減と地球環境の保全に取り組んでおります。こうしたなか、当社も『チーム・マイナス6%』の趣意に賛同し参加いたしました。今夏のクールビズ導入に続き、現在はウォームビズを実施しており、事務所内の室温を原則20℃に設定し、エネルギー使用量の削減に努めております。



医療法人澄心会茂原神経科病院 (千葉県茂原市)



同志社大学工学部新研究室棟(恵喜館) (京都府京田辺市)



仙建工業株式会社 高速発酵堆肥化施設 (宮城県利府町)

中間連結貸借対照表の要旨

科目	期別		
	前中間期 (平成16年9月30日)	当中間期 (平成17年9月30日)	前事業年度 (平成17年3月31日)
資 産 の 部			
流動資産	33,644	28,949	35,135
現金預金	9,661	8,972	11,774
受取手形・完成工事未収入金等	16,898	13,158	20,147
未成工事支出金等	6,220	5,973	2,655
その他	863	844	557
固定資産	10,200	10,961	10,834
有形固定資産	3,431	3,436	3,506
無形固定資産	280	287	295
投資その他の資産	6,488	7,237	7,031
資産合計	43,844	39,910	45,969

中間連結損益計算書の要旨

科目	期別		
	前中間期 (自平成16年4月1日 至平成16年9月30日)	当中間期 (自平成17年4月1日 至平成17年9月30日)	前事業年度 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
売上高	26,524	19,427	61,378
売上原価	23,251	16,713	53,956
売上総利益	3,273	2,713	7,421
販売費及び一般管理費	2,676	2,769	5,590
営業利益	596	△ 56	1,831
営業外損益	54	216	92
経常利益	651	159	1,923
特別損益	22	△ 19	△ 63
税金等調整前中間(当期)純利益	673	140	1,860
法人税、住民税及び事業税	192	105	720
法人税等調整額	△ 45	9	△ 19
中間(当期)純利益	526	25	1,159

(単位:百万円)

科目	期別		
	前中間期 (平成16年9月30日)	当中間期 (平成17年9月30日)	前事業年度 (平成17年3月31日)
負 債 の 部			
流動負債	21,916	17,063	23,154
支払手形・工事未払金等	17,813	13,559	19,988
未成工事受入金	2,367	1,904	1,157
その他	1,736	1,598	2,008
固定負債	1,614	1,591	1,651
負債合計	23,531	18,654	24,806
少数株主持分	-	-	-
資 本 の 部			
資本金	2,746	2,746	2,746
資本剰余金	2,498	2,498	2,498
利益剰余金	13,730	14,091	14,260
土地再評価差額金	410	394	410
その他有価証券評価差額金	927	1,524	1,249
自己株式	△ 1	△ 0	△ 2
資本合計	20,312	21,255	21,163
負債、少数株主持分及び資本合計	43,844	39,910	45,969

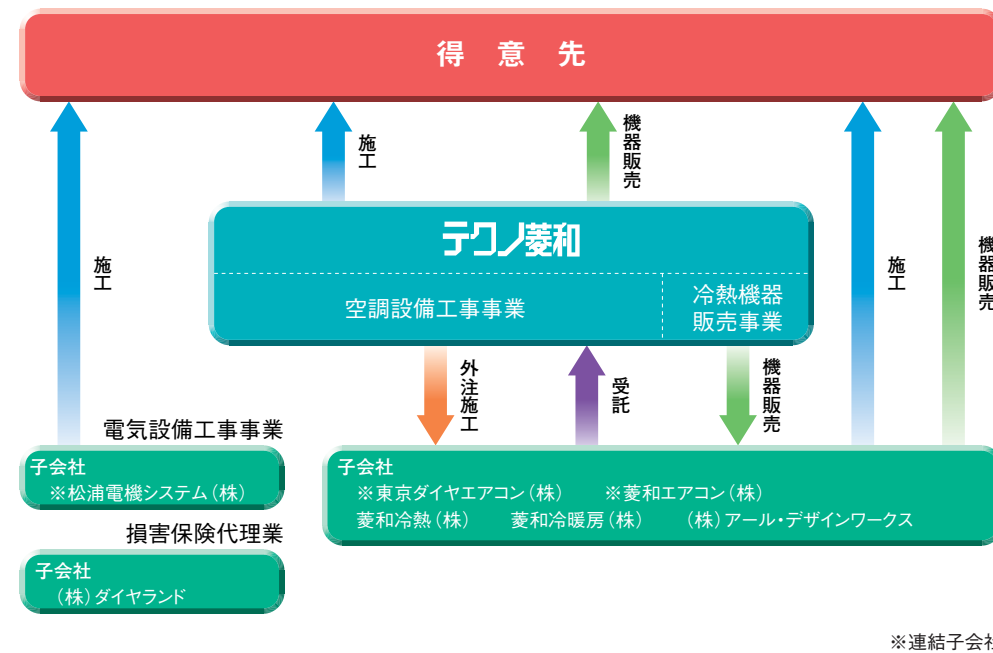
中間連結剰余金計算書

科目	期別		
	前中間期 (自平成16年4月1日 至平成16年9月30日)	当中間期 (自平成17年4月1日 至平成17年9月30日)	前事業年度 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
資 本 剰 余 金 の 部			
資本剰余金期首残高	2,498	2,498	2,498
資本剰余金中間期末(期末)残高	2,498	2,498	2,498
利 益 剰 余 金 の 部			
利益剰余金期首残高	13,365	14,260	13,365
利益剰余金増加高	526	40	1,159
中間(当期)純利益	526	25	1,159
土地再評価差額金取崩額	-	15	-
利益剰余金減少高	161	209	265
株主配当金	145	187	249
取締役賞与金	15	19	15
自己株式消却額	-	2	-
利益剰余金中間期末(期末)残高	13,730	14,091	14,260

■ 企業集団の状況

当社の企業集団は、当社および子会社7社で構成され、空調設備技術を核とした設備工事の設計・施工を主な内容としており、さらに冷熱(空調)機器の販売、修理・サービス・リフォーム工事および各事業に関連する研究等の事業活動を展開しております。

事業の系統図は、次のとおりであります。



■ 連結子会社

名称	住所	資本金	主要な事業の内容
東京ダイエアコン(株)	東京都新宿区	30,000千円	空調設備工事
菱和エアコン(株)	愛知県名古屋	40,000千円	空調設備工事
松浦電機システム(株)	大阪府守口市	20,000千円	電気設備工事

中間貸借対照表の要旨

科目	期別		
	前中間期 (平成16年9月30日)	当中間期 (平成17年9月30日)	前事業年度 (平成17年3月31日)
資 産 の 部			
流動資産	32,299	26,744	32,849
現金預金	8,681	7,611	10,412
受取手形・完成工事未収入金等	16,720	12,529	19,365
未成工事支出金等	6,046	5,790	2,531
その他	849	813	540
固定資産	10,132	10,966	10,799
有形固定資産	3,425	3,284	3,353
無形固定資産	279	265	272
投資その他の資産	6,427	7,417	7,173
資産合計	42,431	37,711	43,649

中間損益計算書の要旨

科目	期別		
	前中間期 (自平成16年4月1日 至平成16年9月30日)	当中間期 (自平成17年4月1日 至平成17年9月30日)	前事業年度 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
売上高	25,976	17,723	59,568
売上原価	22,817	15,317	52,488
売上総利益	3,159	2,406	7,079
販売費及び一般管理費	2,584	2,528	5,326
営業利益	575	△ 122	1,753
営業外損益	46	227	79
経常利益	621	105	1,833
特別損益	24	△ 18	△ 55
税引前中間(当期)純利益	645	86	1,778
法人税、住民税及び事業税	183	95	688
法人税等調整額	△ 35	△ 11	△ 8
中間(当期)純利益	497	3	1,098
前期繰越利益	843	832	843
土地再評価差額金取崩額	—	15	—
中間配当額	—	—	104
自己株式消却額	—	2	—
中間(当期)未処分利益	1,341	847	1,838

(単位:百万円)

科目	期別		
	前中間期 (平成16年9月30日)	当中間期 (平成17年9月30日)	前事業年度 (平成17年3月31日)
負 債 の 部			
流動負債	21,627	16,141	22,111
支払手形・工事未払金等	17,630	12,742	19,135
未成工事受入金	2,299	1,783	1,086
その他	1,697	1,616	1,889
固定負債	1,347	1,230	1,270
負債合計	22,974	17,371	23,381
資 本 の 部			
資本金	2,746	2,746	2,746
資本剰余金	2,498	2,498	2,498
利益剰余金	12,877	13,183	13,374
土地再評価差額金	410	394	410
その他有価証券評価差額金	925	1,516	1,240
自己株式	△ 1	△ 0	△ 2
資本合計	19,457	20,339	20,268
負債資本合計	42,431	37,711	43,649

C L O S E U P

売上高【完成工事高】

建設業におきましては、年度末に完成する工事の割合が大きいため、上半期と下半期の売上高に季節的変動が生じる傾向があります。当期の売上高につきましては524億円を見込んでおります。

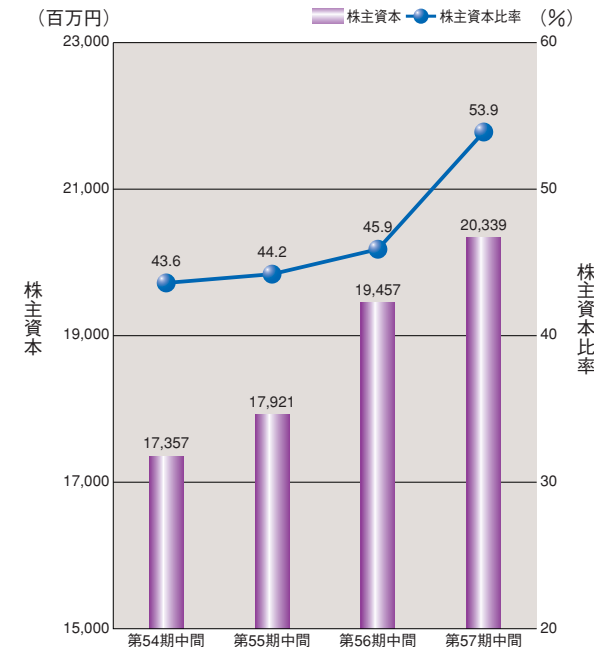
売上原価【工事損失引当金の繰入】

受注工事のうち、将来損失の発生が見込まれ、かつ、その金額を合理的に見積もることのできる工事について引当金を計上いたします。当中間期は203百万円の工事損失引当金繰入額を計上しております。

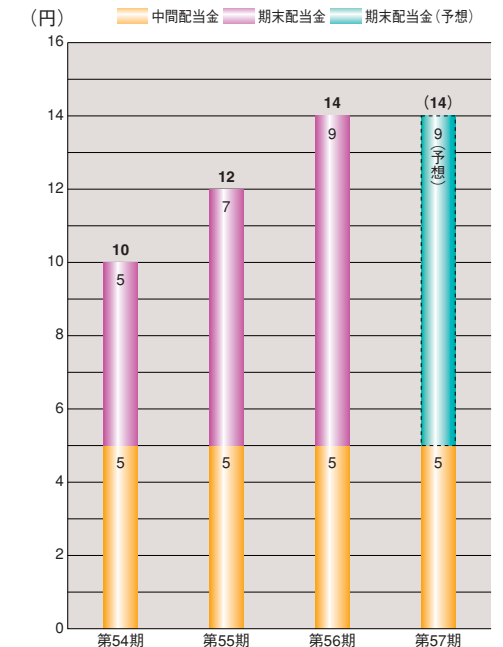
特別損益【減損損失】

長期にわたり遊休状態であり、地価も著しく下落している土地につきまして損失を計上いたします。当中間期は愛知県丹羽郡扶桑町に所有しております土地につきまして、25百万円の減損損失を計上しております。

株主資本と株主資本比率の推移



1株当たり配当金の推移



TOPICS

愛知万博のパビリオン撤去作業に着手

環境問題の関心の高さを反映し、予想を上回る来場者を記録した『愛・地球博』が本年9月25日に閉幕しました。当社が建築に参画したパビリオンでは、施工段階から万博終了後の撤去作業における建築廃材の低減を意識した工事施工に努め、環境負荷の低減を目指した会場作りに取り組んでまいりました。

万博閉幕後、会場施設の撤去作業が進むなか、当社は多数のリニューアル工事の施工実績を活かし、『愛・地球博』のパビリオン撤去・復旧作業にも参画しております。

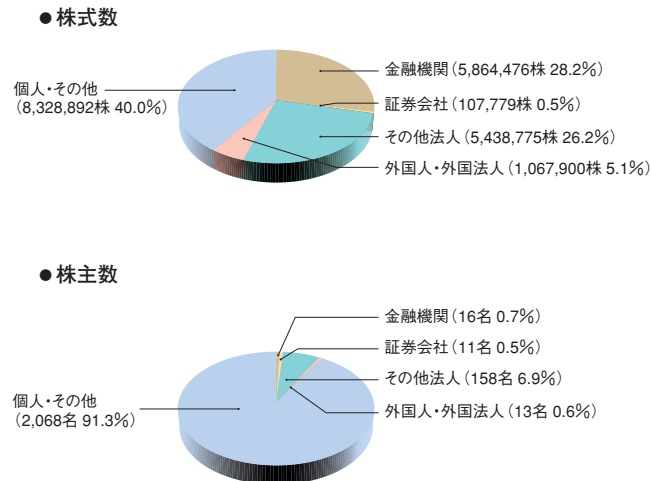


発行済株式の総数 20,807,822株
 当中間期末現在の株主総数 2,266名

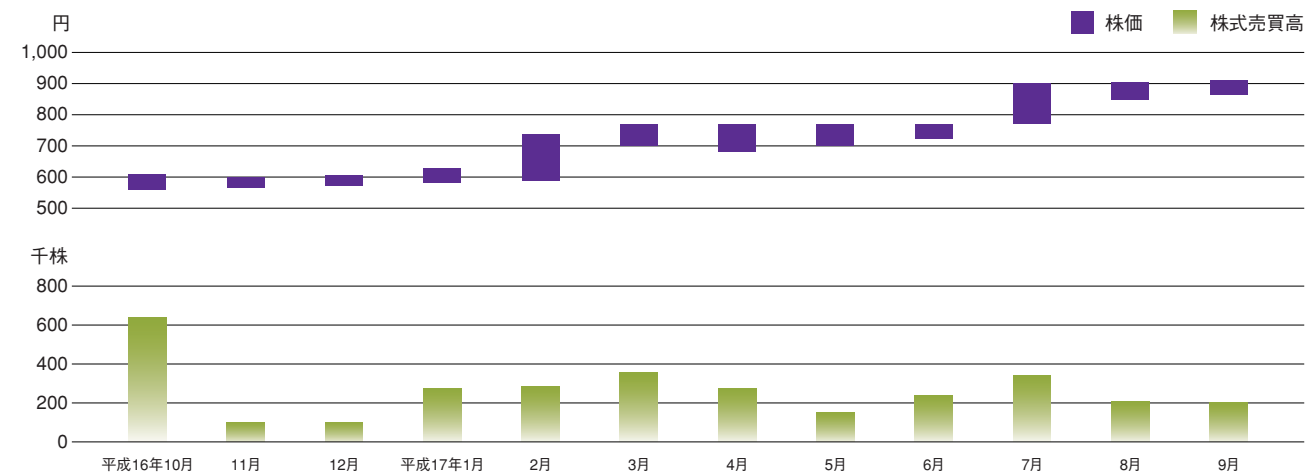
大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
三菱重工業株式会社	1,444	6.9
テクノ菱和取引先持株会	1,051	5.0
株式会社みずほ銀行	1,028	4.9
株式会社東京三菱銀行	984	4.7
近重次郎	878	4.2
東京海上日動火災保険株式会社	824	3.9
テクノ菱和従業員持株会	815	3.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	675	3.2
株式会社名古屋銀行	670	3.2
明治安田生命保険相互会社	667	3.2

株式の分布状況



株価データ(株価の推移)



会社概要 (平成17年9月30日現在)

商号 株式会社テクノ菱和
 (英文名 TECHNO RYOWA LTD.)
 設立 昭和24年12月23日
 資本金 2,746,800,000円
 上場 東証市場二部
 従業員 666名
 本社 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
 (登記上の本店 東京都港区南青山2丁目3番6号)

主な事業所 技術開発研究所(東京都世田谷区)
 東京本店(東京都豊島区)
 札幌支店(北海道札幌市)
 茨城支店(茨城県土浦市)
 東北支店(宮城県仙台市)
 千葉支店(千葉県千葉市)
 横浜支店(神奈川県横浜市)
 名古屋支店(愛知県名古屋市)
 静岡支店(静岡県静岡市)
 大阪支店(大阪府大阪市)
 中国支店(広島県広島市)
 九州支店(福岡県福岡市)

事業内容

産業設備関連事業
 クリーンシステム(塵埃・微生物除去)
 恒温・恒湿設備・低湿度設備
 省エネルギー・省資源設備
 スポット空調設備
 産業排水・排気処理設備
 冷凍・冷蔵設備・超低温設備
 クリーン流体処理プラント
 生産プロセス関連工事
 原子力関連設備

一般ビル設備関連事業
 一般空調設備
 給排水衛生設備
 防災・消火設備
 排水処理設備
 地域冷暖房
 コージェネレーション設備

設備改善関連事業
 設備診断および設備リフォーム工事
 保守およびメンテナンス工事
 その他上記関連設備の運転管理および建築付帯設備などの設計施工ならびに関連機器類の製造、販売

建設業許可番号
 [特定建設業]
 管工事業
 建築工事業
 電気工事業
 機械器具設置工事業
 水道施設工事業
 国土交通大臣許可(特-16)第3101号
 [一般建設業]
 消防施設工事業
 国土交通大臣許可(般-16)第3101号

一級建築士事務所
 東京都知事登録 第43570号

電気工事業
 経済産業大臣届出 第11020号

建築物環境衛生総合管理業
 東京都知事登録 17総第87号

一般労働者派遣事業
 厚生労働大臣許可 般13-09-0202

ISO9001認証取得
 ISO14001認証取得

役員 (平成17年10月1日現在)

取締役会長兼社長 林 昭八郎
 専務取締役 阿部 捷司
 常務取締役 小杉 道夫
 常務取締役 黒田 英彦
 取締役 近重 次郎
 取締役 栗山 一成
 取締役 西 久志
 取締役 内山 鉄也
 取締役 石川 脩二
 取締役 井上 正道
 取締役 杉田 章夫
 取締役 堂垣内 重晴
 取締役 星野 公二
 取締役 小森 光男
 常勤監査役 酒井 孝司
 監査役 湊 博志
 監査役 吉田 達法
 監査役 宮本 光平

株主メモ

決 算 期	毎年3月31日(年1回)
定 時 株 主 総 会	毎年6月
基 準 日	定時株主総会については、3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株 式 名 義 書 換	1.名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 2.事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 (電話お問い合わせ・郵便物送付先) 〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 電話0120-707-696(フリーダイヤル) 3.同 取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店 (お知らせ) 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買 取請求に必要な各用紙、および株式の相続手続依 頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル 0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用 ください。
1単元の株式の数	100株
単元未満株式の 買取請求受付場所	上記名義書換代理人あるいは証券会社等にてお取扱い します。
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞 決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書の開示 は、当社ホームページ(http://www.techno-ryowa.co.jp/ kessan/)に掲載しております。